※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０１

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	新高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	新高等保健体育ノート　改訂版（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会の一員として高校生期に健康な生活習慣を身につけたり地球環境を守ったりするための知識や能力を高め、それを実践することの出来るライフステージを構築する。

2　学習の到達目標

保健の知識を理解し見方・考え方を働かせる。(知識及び技能)合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理できるようにする。（思考力、判断力、表現力等）自ら改善していくための資質や能力を育てる。(学びに向かう力、人間性等)

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むため学習に主体的に取り組もうしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	現代社会と健康	1．日本における健康課題の変遷 2．健康の考え方と成り立ち 3．ヘルスプロモーションと健康にかかわる環境づくり 4．健康に関する意思決定・行動選択	a:国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、主体要因と環境要因の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。 b:国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 c: 現代社会と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 考査	観察 ワークシート ノート 考査	観察 ワークシート ノート
	安全な社会生活	1．応急手当の意義と救急医療体制 2．心肺蘇生法 3．日常的な応急手当	a: 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当の技能を身に付けている。 b:安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回復方法を考え、それらを表現している。 c:安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決につけての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 考査 実技	観察 ワークシート 考査 実技	観察 ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

2 学 期	現 代 社 会 と 健 康	5. 現代における感染症の問題 6. 感染症の予防 7. 性感染症・エイズとその予防 8. 生活習慣病などの予防と回復 9. 身体活動・運動と健康 10. 食事と健康 11. 休養・睡眠と健康 12. がんの予防と回復	a:感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。 b:感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 c：現代社会と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。 a:健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運 動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 b:生活習慣病の予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 c:現代社会と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワーク シート 考査	観察 ワーク シート ノート 考査	観察 ワーク シート ノート

※令和４年度以降入学生用

3 学 期	現 代 社 会 と 健 康	13. 喫煙と健康 14. 飲酒と健康 15. 薬物乱用と健康	a:喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。 b:喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を諸外国と比較して、防止対策を評価している。 c:現代社会と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワーク シート 考査	観察 ワーク シート ノート 考査	観察 ワーク シート ノート
		16. 精神疾患の特徴 17. 精神疾患への対応	a:精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 b:精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理すること。 c:現代社会と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	ワーク シート 考査	観察 ワーク シート ノート 考査	観察 ワーク シート ノート

※令和４年度以降入学生用

	安全な社会生活	4. 事故の現状と発生要因 5. 交通事故防止の取り組み 6. 安全な社会の形成	a:安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備がかかわること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。 b:交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 c:安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決につけての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 考査	観察 ワークシート ノート 考査	観察 ワークシート ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度